

希望

チューリツヒ日本人学校便り

平成 27 年 9 月 28 日発行
第 22 号
発行人 校長 鈴木史良

危険を防ぐために必要なこと

—— いざというときの安全を確保するために——

昨年の9月10日付で、学校から「不審者への注意について」という保護者宛の文書が出されています。その内容は以下の通りでした。

“ウスター市内の小学生女子児童が、夕方に一人で学校から帰る途中、車から降りてきた見知らぬ男性に呼び止められた。「君のお母さんがたった今、事故にあって病院に運ばれた。僕がすぐに病院まで運んであげるから、早く車に乗りなさい。」そう言って手を引っ張って、強引に車に乗せようとした。急なことで訳がわからなかったけれど、怖くなった女兒はあわてて走って逃げだした。半信半疑のまま、家までたどり着くと、母親は何事もなく家にいた。あのまま、車に乗っていたら・・・”

【今後の対策】「世界の国の中で最も安全な国のひとつ」と言われるスイスですが、安全を過信しないことが重要です。

「知らない人には、ついていかない。」

「子どもだけでは、外出しない。」

「もしも連れられそうになった時には、とにかく大声を出す。」（日本語でもいい）

「買い物先などで、親から離れて遊ばない。」（子どもから目を離さない）

(2014.9.10)

緑に囲まれた平穏で暮らしやすい街、ウスター。しかし、わずか1年前に起きた事件に驚きました。強引に車に乗せられようとした女兒が助かったのは、“怖くなって走って逃げた”という行動をとっさにとったからでしょう。状況に応じて、どうすればいいのかを判断して行動することは、とても重要なことです。しかし、普段から心掛けていないと、恐怖のあまりパニック状態になって、何をしたらいいのかわからなくなるという状態に陥る危険性も出てきます。そういう場合の備えとして、日頃から意識づけておくためにも避難訓練は大切な意義があります。

避難訓練当日の様子は？

さて、今年度も不審者に対する避難訓練を9月25日(金)に実施しました。玄関から侵入した不審者が職員室にいる事務職員を脅し、異変に気づいて駆けつけた教員が放送で全校に危険を伝え、安全に避難させるという想定です。4校時が始まって数分後のことでした。廊下から緊急放送が聞こえてきました。

「不審者が侵入しました。不審者は、いま職員室です。教室を施錠し、指示が出るまで教室内に待



図書室で避難行動を振り返る子どもたち

機しなさい。」

職員室階の教室は、ただちにドアが内側から施錠され、子どもたちは教員と静かに待機しました。上の階では、ただちに出入り口扉が施錠され、各教室の子どもたちは教員の指示で図書室に集まりました。校庭で体育の授業だった子どもたちは体育館内に避難しました。

不審者確保の確認がとれた後、全員を図書室に集め、人数確認及び事後指導を行いました。子どもたちから出た反省には、足音を立てないように避難した、すばやく行動して声を出さないようにした、という配慮や工夫点の他、みんなが無事に避難できたかどうか心配だったという声もあったほどで、全員が真剣に取り組んだ様子がわかりました。また、一人で不審者と出会ったことを想定し、『いかのおすし』という言葉覚え、大声を出す練習をしました。教職員にとって日頃確認できない事柄も確認でき、たいへん有意義でした。

『いか』・・・知らない人に声をかけられても、ついて『いか』ない。

『の』・・・知らない人の車には、ぜったい『の』らない。

『お』・・・こまったら『お』おきな声で助けをよぶ。

『す』・・・その場から、『す』ぐにげる。

『し』・・・近くのおとなに『し』らせる。



「いかのおすし」を学ぶ子どもたち



不審者につかまれ大声を出す練習

10月の主要予定

10月01日(木)	JSタイム
02日(金)	前期クラブ最終日 図書ボランティア 15:45～
03日(土)	秋季休業 ～11日(日)
12日(月)	全校朝会 後期時間割開始
15日(木)	JSタイム
16日(金)	英語活動(5. 6年)
17日(土)	学習発表会舞台組立 9:00～
24日(土)	学習発表会
25日(月)	振替休日 校長出張～29日(パリ校長会)
27日(火)	後期クラブ開始 ふり返し集会④
29日(水)	月例情報交換会 15:45～
30日(金)	英語活動(5. 6年) 合同研修会(5校時終了後下校 ※6年生のみ6校時)